

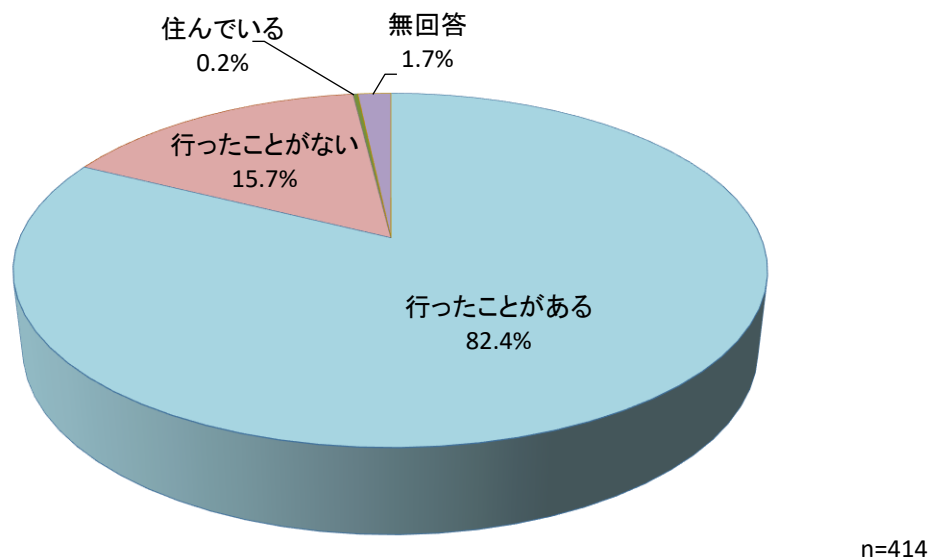
7. 大谷地域の振興について

(1) 大谷地域への来訪経験の有無

◇ 「行ったことがある」が8割強

問19 あなたは、大谷地域に行ったことがありますか。	(○は1つ)
	n=414
1 行ったことがある	82.4%
2 行ったことがない	15.7%
3 住んでいる (無回答)	0.2% 1.7%

<図IV-7-1>全体



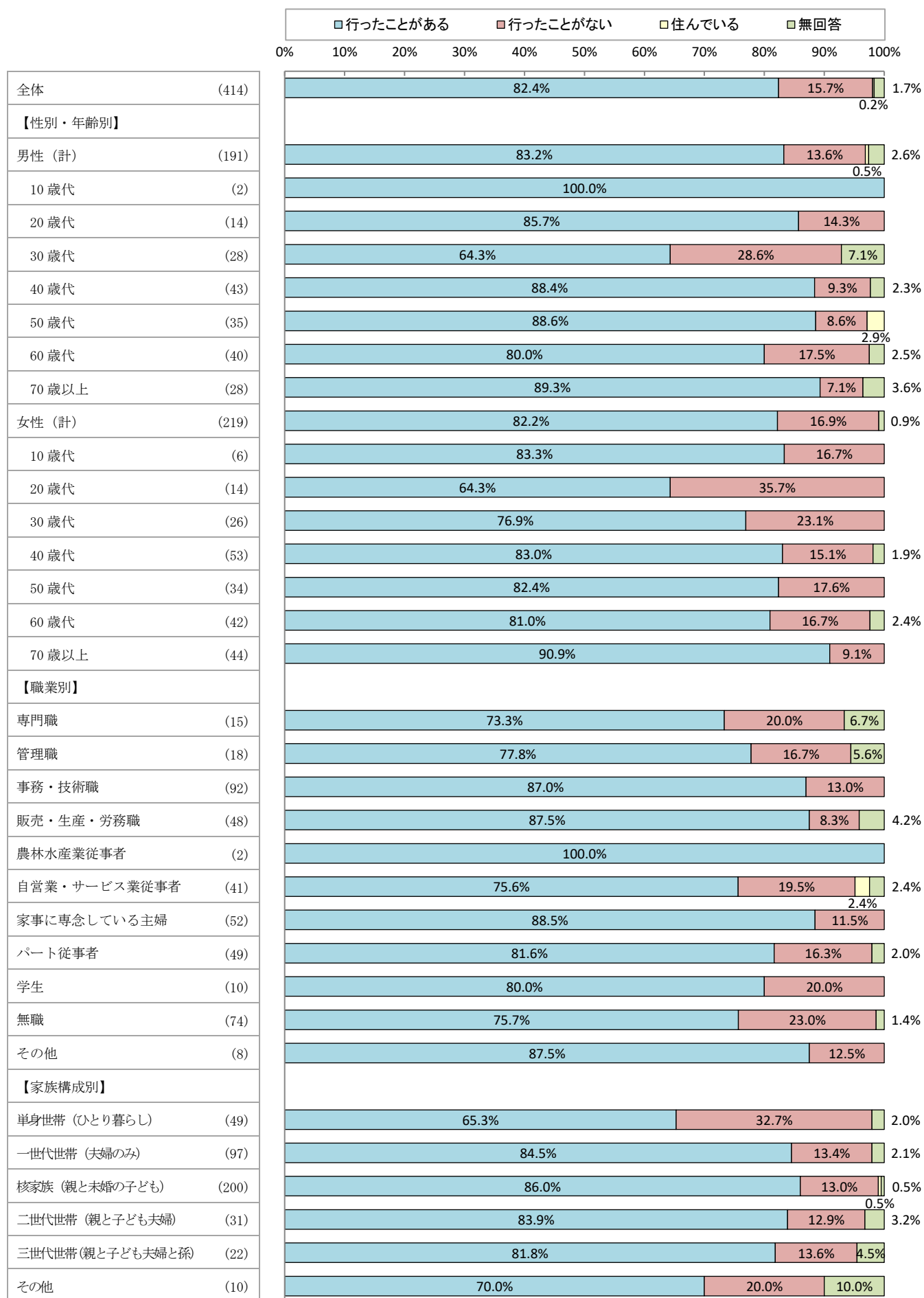
大谷地域への来訪経験の有無については、「行ったことがある」が82.4%で最も高く、次いで「行ったことがない」が15.7%であった。(図IV-7-1)

性別・年齢別でみると、「行ったことがある」は<女性/70歳以上>が90.9%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が89.3%と続いている。「行ったことがない」は<女性/20歳代>が35.7%で最も高かった。(図IV-7-2)

職業別でみると、「行ったことがある」は<家事に専念している主婦>が88.5%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が87.5%と続いている。「行ったことがない」は<無職>が23.0%で最も高かった。(図IV-7-2)

家族構成別でみると、「行ったことがある」は<核家族(親と未婚の子ども)>が86.0%で最も高く、次いで<一世帯世帯(夫婦のみ)>が84.5%と続いている。「行ったことがない」は<単身世帯(ひとり暮らし)>が32.7%で最も高かった。(図IV-7-2)

<図IV-7-2>性別・年齢別/職業別/家族構成別

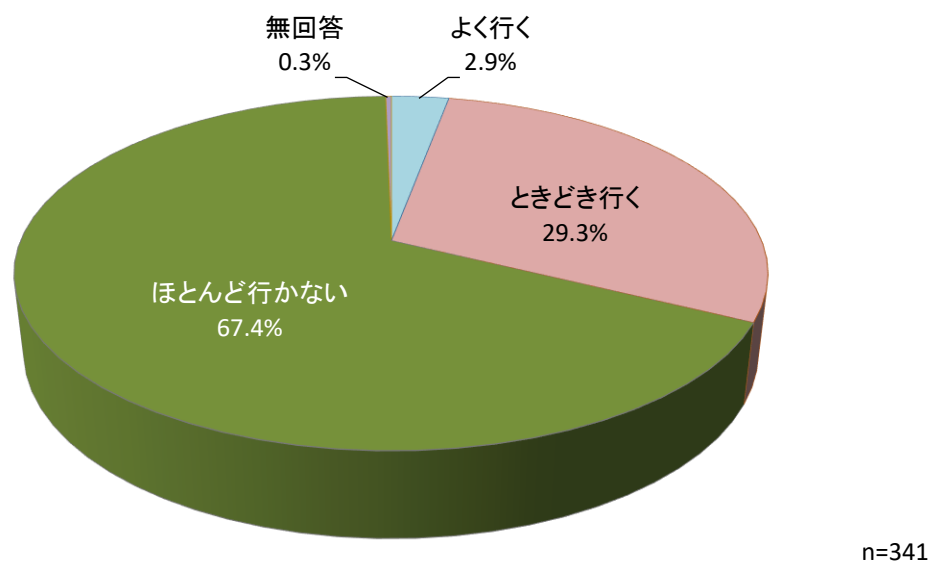


(2) 大谷地域への来訪頻度

◇ 「ほとんど行かない」が7割弱

問20	問19で「1 行ったことがある」と回答された方にお伺いします。 大谷地域へはどれくらいの頻度で行きますか。	(○は1つ)
		n=341
1	よく行く	2.9%
2	ときどき行く	29.3%
3	ほとんど行かない (無回答)	67.4%
		0.3%

<図IV-7-3>全体



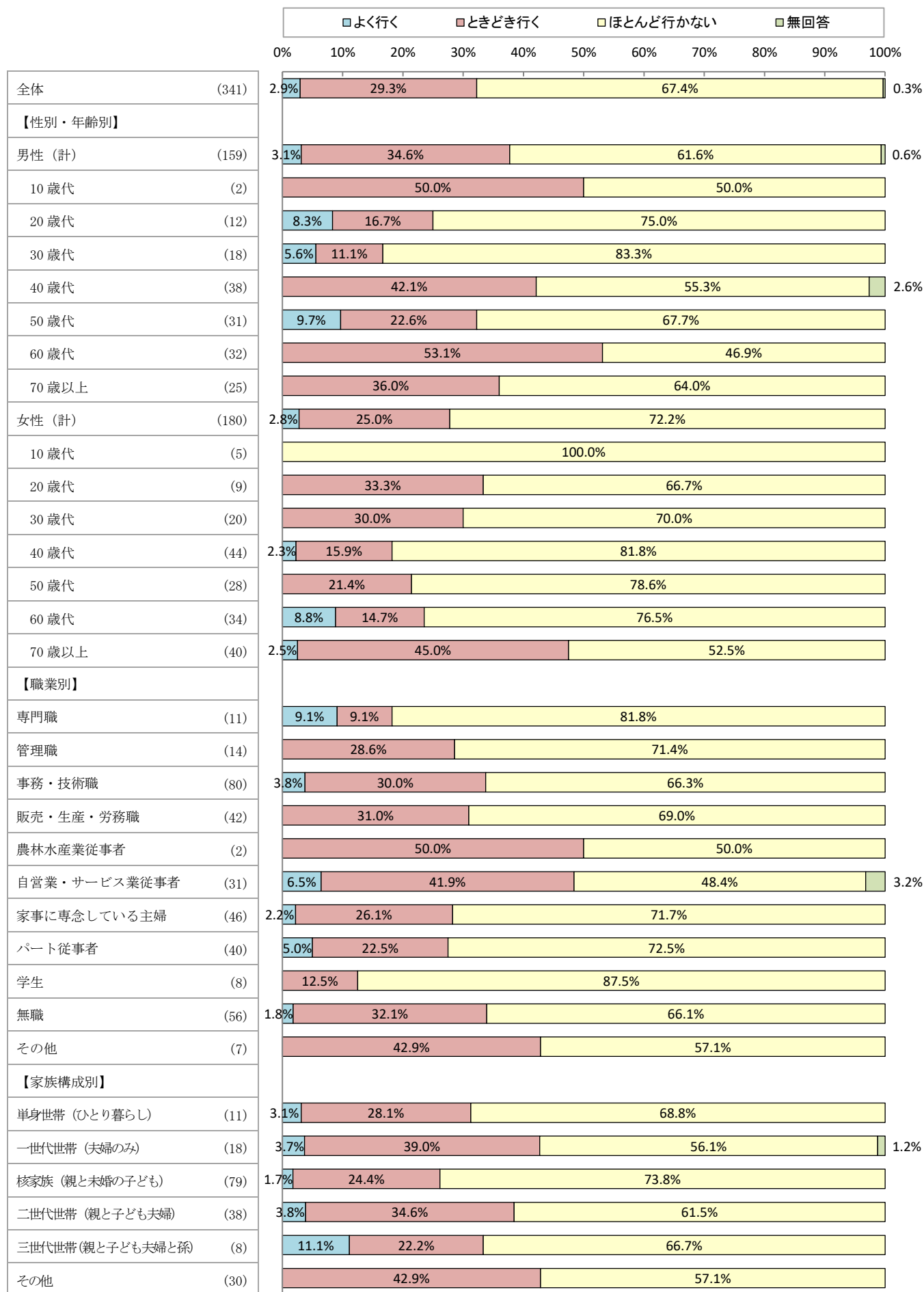
大谷地域への来訪頻度については、「ほとんど行かない」が67.4%で最も高く、次いで「ときどき行く」が29.3%と続いている。(図IV-7-3)

性別・年齢別でみると、「ほとんど行かない」は<男性/30歳代>が83.3%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が81.8%と続いている。「ときどき行く」は<男性/60歳代>が53.1%で最も高かった。(図IV-7-4)

職業別でみると、「ほとんど行かない」は<学生>が87.5%で最も高く、次いで<専門職>が81.8%と続いている。「ときどき行く」は<自営業・サービス業従事者>が41.9%で最も高かった。(図IV-7-4)

家族構成別でみると、「ほとんど行かない」は<核家族(親と未婚の子ども)>が73.8%で最も高く、次いで<単身世帯(ひとり暮らし)>が68.8%と続いている。「ときどき行く」は<一世代世帯(夫婦のみ)>が39.0%で最も高かった。(図IV-7-4)

<図IV-7-4>性別・年齢別/職業別/家族構成別

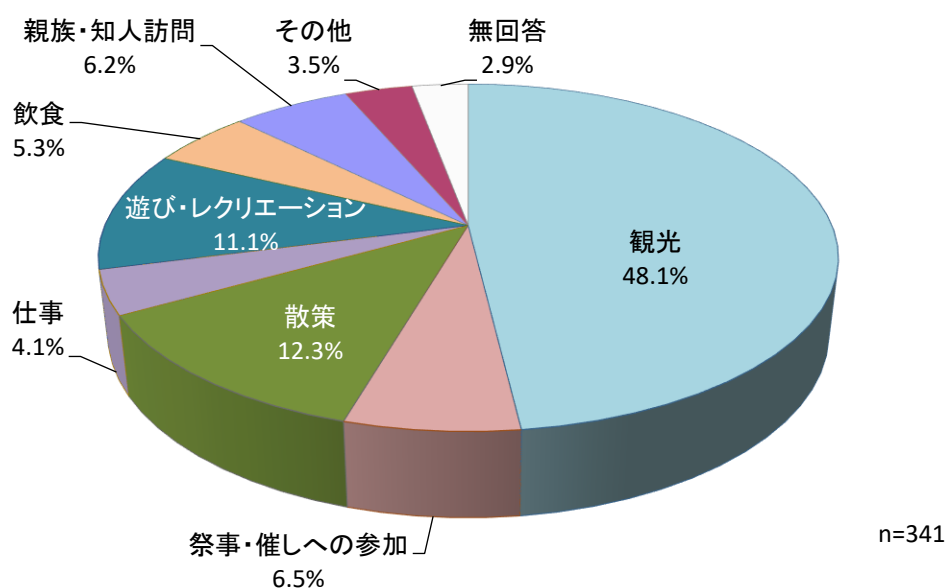


(3) 大谷地域への来訪目的

◇ 「観光」が5割弱

問2 1	問1 9で「1 行ったことがある」と回答された方にお伺いします。 大谷地域への主たる来訪目的は何ですか。	(○は1つ)
		n=341
1	観光	48.1%
2	祭事・催しへの参加	6.5%
3	散策	12.3%
4	仕事	4.1%
5	遊び・レクリエーション	11.1%
6	飲食	5.3%
7	親族・知人訪問	6.2%
8	その他	3.5%
	(無回答)	2.9%

<図IV-7-5>全体



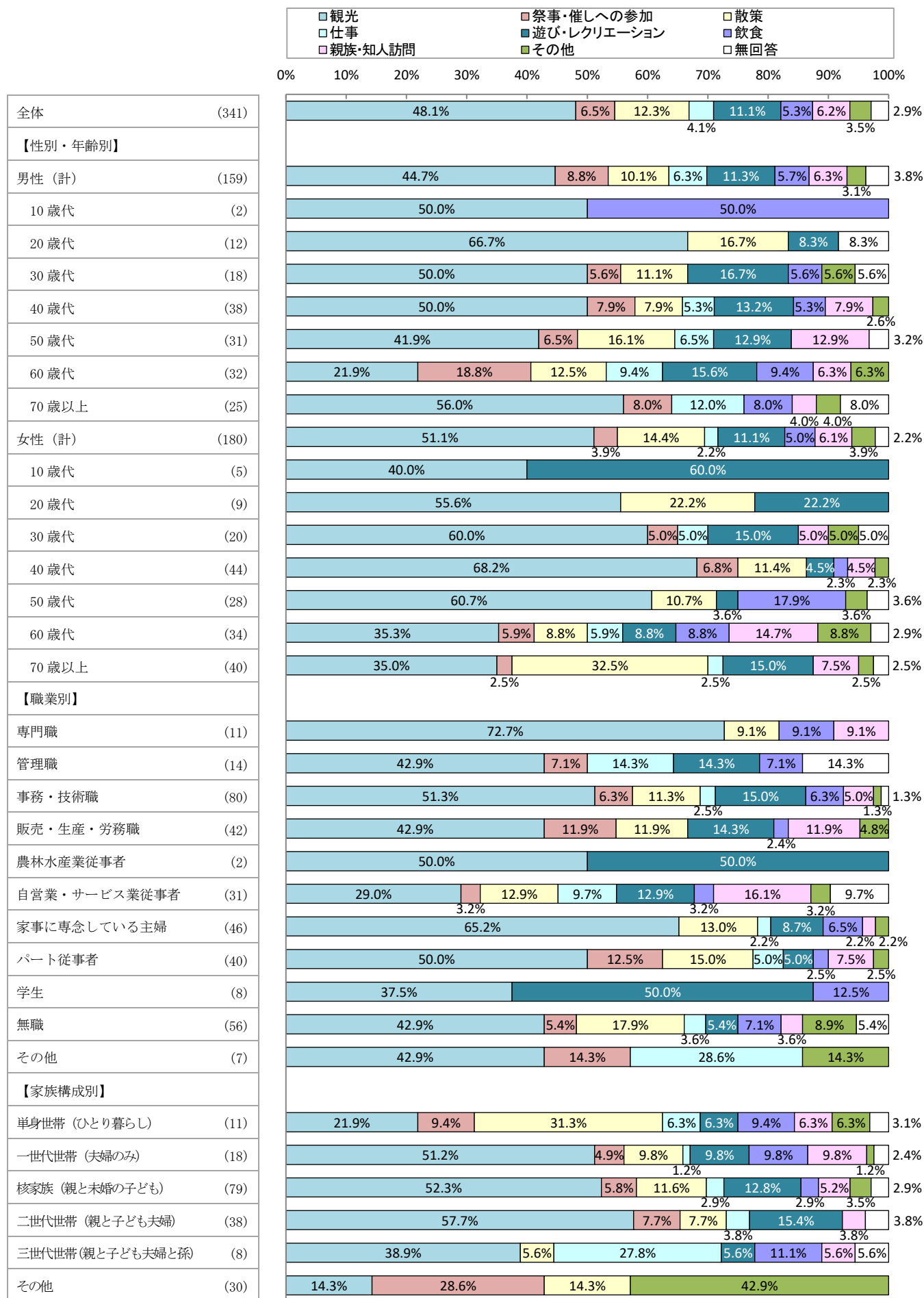
大谷地域への来訪目的について、「観光」が48.1%で最も高く、次いで「散策」が12.3%、「遊び・レクリエーション」が11.1%と続いている。(図IV-7-5)

性別・年齢別でみると、「観光」は<女性/40歳代>が68.2%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が66.7%と続いている。「散策」は<女性/70歳以上>が32.5%で最も高く、「遊び・レクリエーション」は<女性/20歳代>が22.2%で最も高かった。(図IV-7-6)

職業別でみると、「観光」は<専門職>が72.7%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦>が65.2%と続いている。「散策」は<無職>が17.9%で最も高く、「遊び・レクリエーション」は<学生>が50.0%で最も高かった。(図IV-7-6)

家族構成別でみると、「観光」は<二世帯世帯(親と子ども夫婦)>が57.7%で最も高く、次いで<核家族(親と未婚の子ども)>が52.3%と続いている。「散策」は<単身世帯(ひとり暮らし)>が31.3%で最も高く、「遊び・レクリエーション」は<二世帯世帯(親と子ども夫婦)>が15.4%で最も高かった。(図IV-7-6)

<図IV-7-6>性別・年齢別/職業別/家族構成別



(4) 大谷地域への来訪手段

◇ 「自家用車」が約9割

問2 問19で「1 行ったことがある」と回答された方にお伺いします。

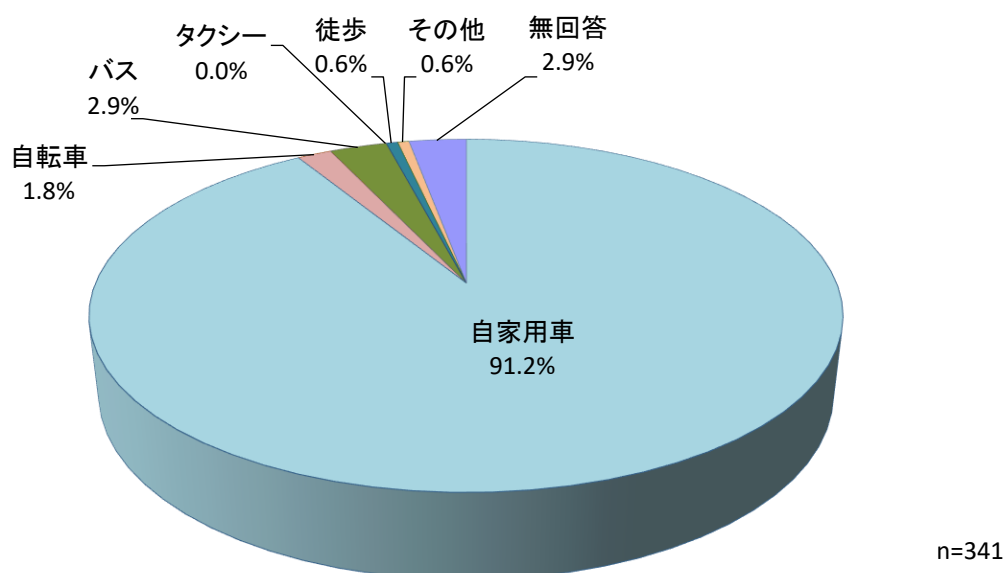
大谷地域への主な来訪手段は何ですか。

(○は1つ)

n=341

1	自家用車	91.2%
2	自転車	1.8%
3	バス	2.9%
4	タクシー	0.0%
5	徒歩	0.6%
6	その他	0.6%
	(無回答)	2.9%

<図IV-7-7>全体



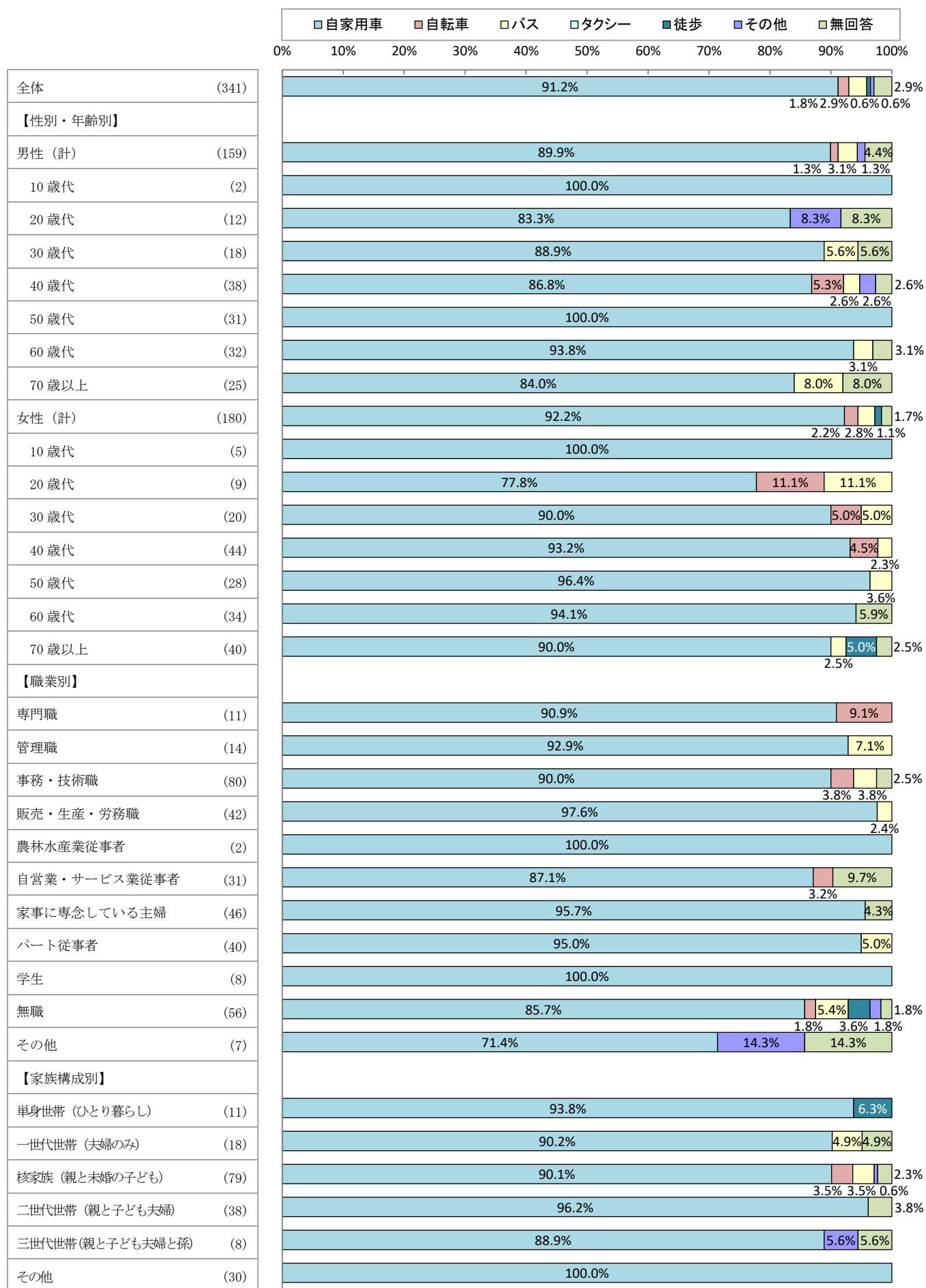
大谷地域への来訪手段については、「自家用車」が91.2%で最も高く、次いで「バス」が2.9%、「自転車」が1.8%と続いている。(図IV-7-7)

性別・年齢別でみると、「自家用車」は<女性/50歳代>が96.4%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が94.1%と続いております、いずれの年代も8割弱～10割となっている。(図IV-7-8)

職業別でみると、「自家用車」は<学生>が100.0%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が97.6%と続いております、いずれの職業も約7割～10割となっている。(図IV-7-8)

家族構成別でみると、「自家用車」は<二世帯世帯(親と子ども夫婦)>が96.2%で最も高く、次いで<単身世帯(ひとり暮らし)>が93.8%と続いております、いずれの家族構成も約9割～10割となっている。(図IV-7-8)

<図IV-7-8>性別・年齢別/職業別/家族構成別

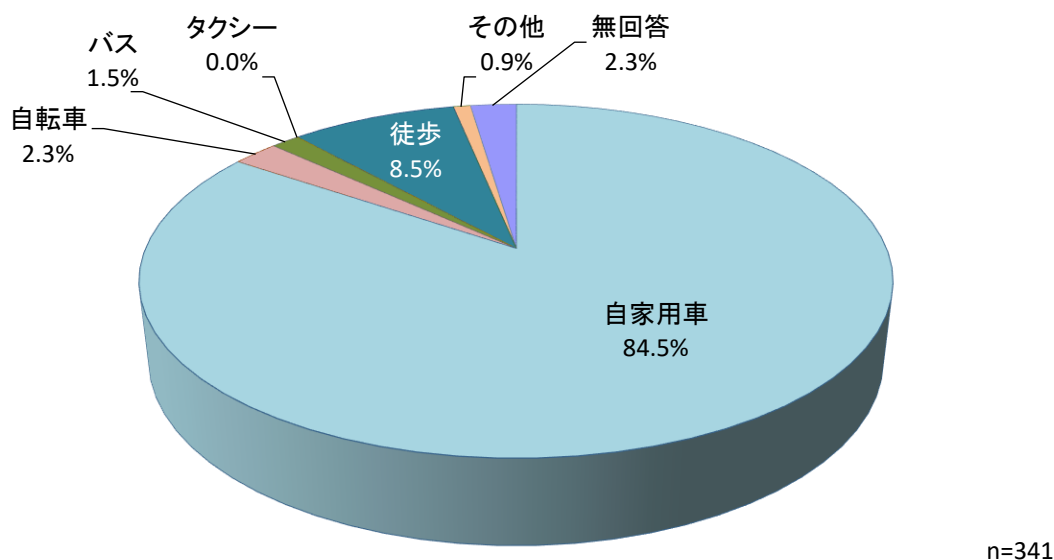


(5) 大谷地域内での移動手段

◇ 「自家用車」が8割半ば

問23	問19で「1 行ったことがある」と回答された方にお伺いします。	
	大谷地域内での主な移動手段は何ですか。	(○は1つ)
		n=341
1	自家用車	84.5%
2	自転車	2.3%
3	バス	1.5%
4	タクシー	0.0%
5	徒歩	8.5%
6	その他	0.9%
	(無回答)	2.3%

<図IV-7-9>全体



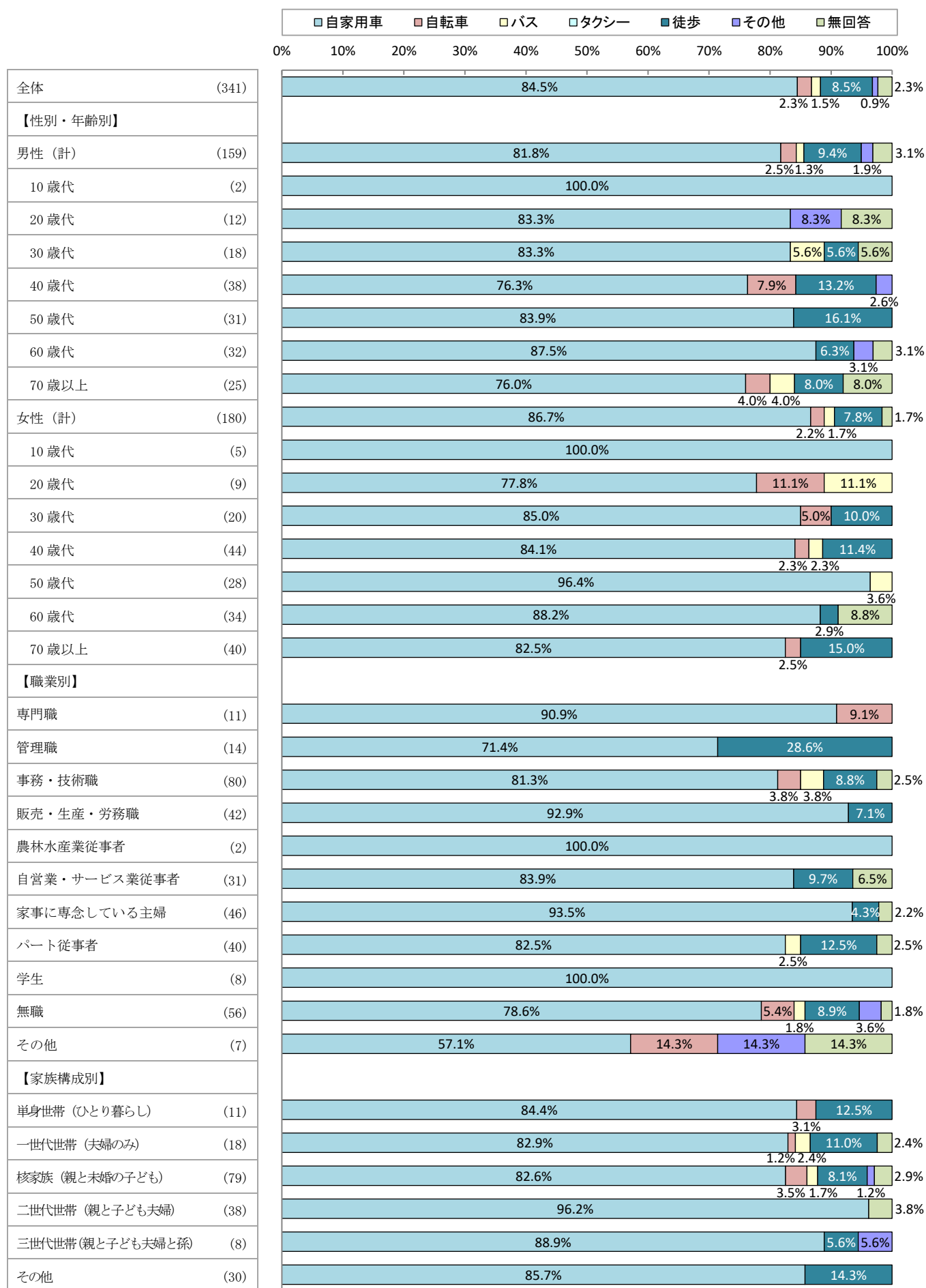
大谷地域内での移動手段については、「自家用車」が84.5%で最も高く、次いで「徒歩」が8.5%、「自転車」が2.3%と続いている。(図IV-7-9)

性別・年齢別でみると、「自家用車」は<女性/50歳代>が96.4%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が88.2%と続いており、いずれの年代も7割半ば~10割となっている。(図IV-7-10)

職業別でみると、「自家用車」は<学生>が100.0%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦>が93.5%と続いており、<その他>を除くすべての職業で約7割~10割となっている。(図IV-7-10)

家族構成別でみると、「自家用車」は<二世代世帯(親と子ども夫婦)>が96.2%で最も高く、次いで<三世代世帯(親と子ども夫婦と孫)>が88.9%と続いており、いずれの家族構成も8割強~9割半ばとなっている。(図IV-7-10)

<図IV-7-10>性別・年齢別/職業別/家族構成別

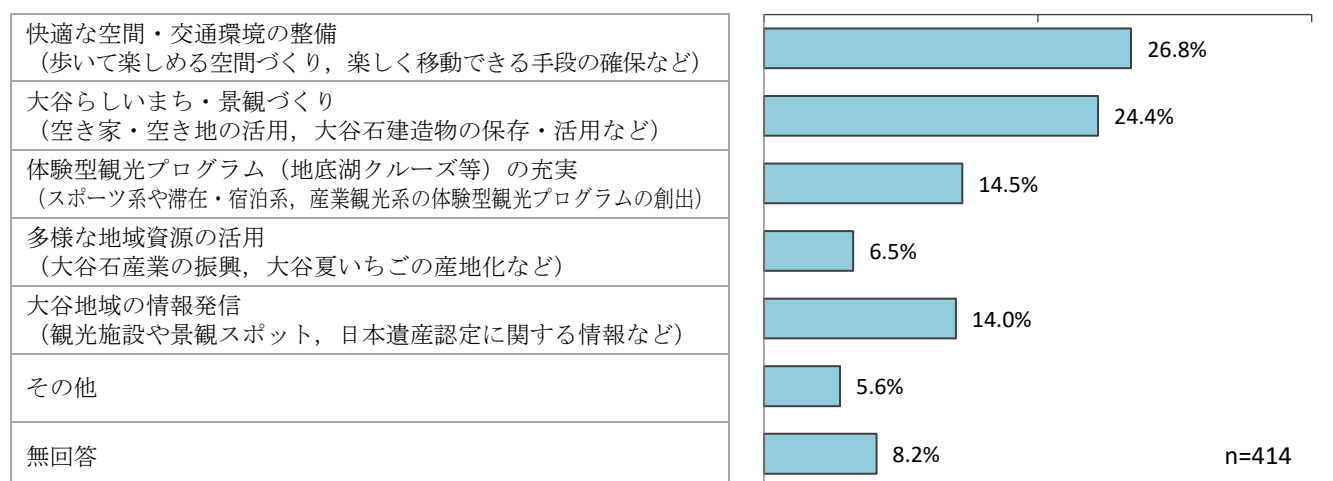


(6) 大谷地域の振興に向けて必要だと思う取組

◇ 「快適な空間・交通環境の整備」が3割弱

問 2 4	大谷地域の振興に向けて、特に必要だと思う取組は何ですか。	(○は1つ)
		n=414
1	快適な空間・交通環境の整備 (歩いて楽しめる空間づくり, 楽しく移動できる手段の確保など)	26.8%
2	大谷らしいまち・景観づくり (空き家・空き地の活用, 大谷石建造物の保存・活用など)	24.4%
3	体験型観光プログラム(地底湖クルーズ等)の充実 (スポーツ系や滞在・宿泊系, 産業観光系の体験型観光プログラムの創出)	14.5%
4	多様な地域資源の活用 (大谷石産業の振興, 大谷夏いちごの産地化など)	6.5%
5	大谷地域の情報発信 (観光施設や景観スポット, 日本遺産認定に関する情報など)	14.0%
6	その他	5.6%
	(無回答)	8.2%

<図IV-7-11>全体



大谷地域の振興に向けて必要だと思う取組については、「快適な空間・交通環境の整備(歩いて楽しめる空間づくり, 楽しく移動できる手段の確保など)」が26.8%で最も高く、次いで「大谷らしいまち・景観づくり(空き家・空き地の活用, 大谷石建造物の保存・活用など)」が24.4%、「体験型観光プログラム(地底湖クルーズ等)の充実(スポーツ系や滞在・宿泊系, 産業観光系の体験型観光プログラムの創出)」が14.5%と続いている。(図IV-7-11)

性別・年齢別でみると、「快適な空間・交通環境の整備」は<女性/70歳以上>が40.9%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が35.0%と続いている。「大谷らしいまち・景観づくり」は<女性/30歳代>が42.3%で最も高く、「体験型観光プログラムの充実」は<女性/20歳代>が42.9%で最も高かった。(図IV-7-12)

職業別でみると、「快適な空間・交通環境の整備」は<学生>が40.0%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦>が34.6%と続いている。「大谷らしいまち・景観づくり」は<パート従事者>が32.7%で最も高く、「体験型観光プログラムの充実」は<事務・技術職>が26.1%で最も高かった。(図IV-7-12)

家族構成別でみると、「快適な空間・交通環境の整備」は<一世代世帯(夫婦のみ)>が27.8%で最も高く、次いで<核家族(親と未婚の子ども)>が27.0%と続いている。「大谷らしいまち・景観づくり」は<三世代世帯(親と子ども夫婦と孫)>が50.0%で最も高く、「体験型観光プログラムの充実」は<二世帯世帯(親と子ども夫婦)>が19.4%で最も高かった。(図IV-7-12)

<図IV-7-12>性別・年齢別/職業別/家族構成別

- 快適な空間・交通環境の整備(歩いて楽しめる空間づくり, 楽しく移動できる手段の確保など)
- 大谷らしいまち・景観づくり(空き家・空き地の活用, 大谷石建造物の保存・活用など)
- 体験型観光プログラム(地底湖クルーズ等)の充実
- 多様な地域資源の活用(大谷石産業の振興, 大谷夏いちごの産地化など)
- 大谷地域の情報発信(観光施設や景観スポット, 日本遺産認定に関する情報など)
- その他
- 無回答

